

# 令和2年度名寄市下水道事業会計

## 1 事業概況

令和2年度名寄市下水道事業において、公共下水道事業では処理区域内人口は23,302人、行政区域内人口に対する普及率は87.25%となっている。また、水洗化人口は22,940人で水洗化率は98.45%であった。年間総処理水量は5,453,652<sup>m</sup><sup>3</sup>、有収水量は2,158,990<sup>m</sup><sup>3</sup>で、有収率は前年度比6.60%増の75.68%となった。個別排水処理事業では、個別排水処理人口1,881人で個別排水処理施設基数は前年度比2基増の535基となり、年間総処理水量104,167<sup>m</sup><sup>3</sup>となっている。

経営状況（税抜）については、下水道事業収益12億4,853万8,197円に対し、下水道事業費用12億344万1,156円となり、4,509万7,041円の純利益となった。

### 【公共下水道事業】

事 項	単位	2年度	元年度
行政区域内人口	人	26,708	26,993
処理区域内人口	人	23,302	23,560
水洗化人口	人	22,940	23,198
普及率	%	87.25	87.28
水洗化率	%	98.45	98.46
年間総処理水量	<sup>m</sup> <sup>3</sup>	5,453,652	4,775,645
汚水処理水量 A	<sup>m</sup> <sup>3</sup>	2,852,968	3,069,314
(汚水割合)	%	(52.31)	(64.27)
雨水処理水量	<sup>m</sup> <sup>3</sup>	2,600,684	1,706,331
(雨水割合)	%	(47.69)	(35.73)
有収水量 B	<sup>m</sup> <sup>3</sup>	2,158,990	2,120,136
有収率 B/A×100	%	75.68	69.08

### 【個別排水処理事業】

事 項	単位	2年度	元年度
個別排水処理人口	人	1,881	1,882
個別排水処理施設基数	基	535	533
年間総処理水量 A	<sup>m</sup> <sup>3</sup>	104,167	100,943
有収水量 B	<sup>m</sup> <sup>3</sup>	104,167	100,943
有収率 B/A×100	%	100.00	100.00

## 2 予算の執行状況

### (1) 収益的収支の状況 (税込)

収益的収入では、決算額は12億8,828万9,630円となり、予算執行率は99.5%となった。収益的支出では、12億2,668万4,236円となり、予算執行率は98.0%となった。収益的収支の差引額は6,160万5,394円となった。

## 【収益的収入】

(単位：円・%)

区 分	予算現額 A	2年度決算額 B	予算現額に対する 決算額の増減 B-A	執行率	うち仮受消費税及び 地方消費税
営業収益	655,525,000	662,121,500	6,596,500	101.0	39,762,479
営業外収益	635,004,000	622,004,487	△12,999,513	98.0	1,676
特別利益	4,099,000	4,163,643	64,643	101.6	0
合 計	1,294,628,000	1,288,289,630	△6,338,370	99.5	39,764,155

## 【収益的支出】

(単位：円・%)

区 分	予算現額 A	2年度決算額 B	不用額 A-B	執行率	うち仮払消費税及び 地方消費税
営業費用	1,115,042,000	1,101,430,764	13,611,236	98.8	15,454,785
営業外費用	89,262,000	82,341,515	6,920,485	92.2	6,263
特別損失	47,306,000	42,911,957	4,394,043	90.7	0
合 計	1,251,610,000	1,226,684,236	24,925,764	98.0	15,461,048

## (2) 資本的収支の状況 (税込)

資本的収入の決算額は3億8,743万7,550円となり、予算に対する執行率は99.8%となった。資本的支出の決算額は7億4,684万7,317円となり、予算に対する執行率は99.9%となった。資本的収支の不足額は3億5,940万9,767円となった。この不足額は、引継金3,130万4,020円、引継貯蔵品498万910円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,415万6,198円及び当年度損益勘定留保金3億896万8,639円で補填されている。

## 【資本的収入】

(単位：円・%)

区 分	予算現額 A	2年度決算額 B	予算現額に対する 決算額の増減 B-A	執行率	うち仮受消費税及び 地方消費税
企業債	224,100,000	223,400,000	△700,000	99.7	0
出資金	48,452,000	48,451,000	△1,000	100.0	0
負担金及び分担金	380,000	380,304	304	100.1	0
他会計繰入金	3,770,000	3,770,000	0	100.0	0
国庫補助金	109,936,000	109,936,246	246	100.0	0
水洗化貸付事業収入	1,500,000	1,500,000	0	100.0	0
合 計	388,138,000	387,437,550	△700,450	99.8	0

## 【資本的支出】

(単位：円・%)

区 分	予算現額 A	2年度決算額 B	不用額 A-B	執行率	うち仮払消費税及び 地方消費税
建設改良費	287,250,000	286,485,153	764,847	99.7	24,483,463
企業債償還金	458,864,000	458,862,164	1,836	100.0	0
水洗化貸付事業費	1,500,000	1,500,000	0	100.0	0
返 還 金	0	0	0	0	0
合 計	747,614,000	746,847,317	766,683	99.9	24,483,463

### 3 経営状況

#### (1) 経営成績

別表(1)～(3)を参照

(税抜) (単位：円)

2年度	
当年度純利益	45,097,041

#### ア 収益 (税抜)

令和2年度の下水道事業収益は、営業収益で6億2,235万9,021円、営業外収益で6億2,201万5,533円、特別利益で416万3,643円となり、収益が12億4,853万8,197円となった。

【収益内訳表】 (単位：円)

区 分	2年度
営業収益	622,359,021
下水道使用料	397,625,021
他会計負担金	224,665,000
その他営業収益	69,000
営業外収益	622,015,533
受取利息及び配当金	149
他会計補助金	240,172,000
長期前受金戻入	381,789,893
雑収益	53,491
特別利益	4,163,643
下水道事業収益	1,248,538,197

#### イ 費用 (税抜)

令和2年度の下水道事業費用は、営業費用で10億8,597万5,979円、営業外費用で7,455万3,220円、特別損失で4,291万1,957円、費用が12億344万1,156円となった。営業費用の主なものは、減価償却費7億8,577万3,034円であり、営業費用全体の72.36%を占めている。営業外費用の主なものは、支払利息7,240万7,799円であった。

【費用内訳表】 (単位：円)

区 分	2年度
営業費用	1,085,975,979
管渠費	39,984,397
処理場費	167,799,790
個別排水処理費	32,285,640
普及指導費	8,869,541
総係費	36,257,579
減価償却費	785,773,034
資産減耗費	15,005,998
営業外費用	74,553,220
支払利息	72,407,799
雑支出	2,145,421
特別損失	42,911,957
下水道事業費用	1,203,441,156

## ウ 財務状況 (税抜)

### 【資産、負債・資本表】 (単位：円)

区 分	2年度
資 産	<b>13,493,317,172</b>
固定資産	13,292,068,365
流動資産	201,248,807
負債・資本	<b>13,493,317,172</b>
固定負債	3,661,707,309
流動負債	481,606,389
繰延収益	6,656,303,034
資本金	2,614,913,892
剰余金	78,786,548

### 【企業債】 (単位：円)

2年度				
期首残高	期中残高修正	借入高	償還高	年度末残高
4,321,262,453	△1	223,400,000	458,862,164	<b>4,085,800,288</b>

令和2年度は、借入高2億2,340万円に対し、償還高4億5,886万2,164円であり、年度末残高40億8,580万288円となり、期首残高に比べ2億3,546万2,165円減少した。

### 【資金の状況】 (キャッシュ・フロー計算書) (単位：円)

区 分	2年度
業務活動によるキャッシュ・フロー	469,139,304
投資活動によるキャッシュ・フロー	△158,319,844
財務活動によるキャッシュ・フロー	△187,011,164
資金増減額	123,808,296
資金期首残高	31,304,020
資金期末残高	155,112,316

### 【経営比率】

比 率 名	算 式	2
経営資本営業利益率(%)※1	$\frac{\text{営業利益 } \triangle 463,616,958 \text{ 円}}{\text{経営資本 } 13,374,158,239 \text{ 円}} \times 100$	△3.47
経営資本回転率(回)※2	$\frac{\text{営業収益 } 622,359,021 \text{ 円}}{\text{経営資本 } 13,374,158,239 \text{ 円}}$	0.05
営業収益営業利益率(%)※3	$\frac{\text{営業利益 } \triangle 463,616,958 \text{ 円}}{\text{営業収益 } 622,359,021 \text{ 円}} \times 100$	△74.49

- ・営業利益＝(営業収益－受託工事収益)－(営業費用－受託工事費)
- ・経営資本＝総資本－(建設仮勘定＋投資＋繰延資産)
- ・営業収益＝営業収益－受託工事収益

※1 投下された経営資本ともたらされた利益との比較。

※2 経営活動に使用している経営資本が効率良く収益を上げているかをみる指標。

※3 本業における利益水準の指標。

【セグメント情報】

各報告セグメントに属する事業内容

事業区分	事業の内容
公共下水道事業	主に下水道処理区域内において、下水処理をする業務
個別排水処理事業	主に下水道処理区域外において、浄化槽にて下水処理をする業務

報告セグメントごとの営業収益等（税抜）（単位：円）

区 分	公共下水道事業	個別排水処理事業	合 計
営業収益	604,185,802	18,173,219	622,359,021
営業費用	1,019,129,923	66,846,056	1,085,975,979
営業損益	△414,944,121	△48,672,837	△463,616,958
経常損益	82,570,841	1,274,514	83,845,355
セグメント資産	13,083,735,085	409,582,087	13,493,317,172
セグメント負債	10,328,239,293	471,377,439	10,799,616,732
その他の項目			
他会計繰入金	414,317,000	50,520,000	464,837,000
減価償却費	752,216,908	33,556,126	785,773,034
特別利益	4,163,643	0	4,163,643
特別損失	42,392,257	519,700	42,911,957
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	246,420,742	2,873,950	249,294,692

(2) 経営・財務状況

当年度末の財政状況は、別表(2)比較貸借対照表のとおりである。

(3) 使用料の収入状況

下水道使用料及び個別排水使用料は、水道料金と合わせて水道事業で一旦収納し、下水道事業に振替している。令和2年度は公営企業会計への移行初年度のため、振替による収入が11ヵ月分となっている。

【下水道使用料】（単位：円・%）

年度 区分	2年度		
	現年度	過年度	合 計
調 定 額	417,399,170	13,352,546	430,751,716
収入済額※	380,432,672	11,154,050	391,586,722
収 入 率	91.14	83.54	90.91
不納欠損額	0	235,810	235,810
収入未済額	36,966,498	1,962,686	38,929,184

※令和3年3月に水道事業で収入済分のうち、令和3年4月に下水道事業に振替したものは含まない。

【個別排水使用料】（単位：円・%）

年度 区分	2年度		
	現年度	過年度	合 計
調 定 額	19,988,330	76,790	20,065,120
収入済額※	18,335,930	76,790	18,412,720
収 入 率	91.73	100.00	91.76
不納欠損額	0	0	0
収入未済額	1,652,400	0	1,652,400

※令和3年3月に水道事業で収入済分のうち、令和3年4月に下水道事業に振替したものは含まない。

#### (4) 工 事

令和2年度の工事の状況は、次のとおりである。

改良工事の主なものは、名寄下水終末処理場内排水ポンプ場 No.1 雨水ポンプ設備更新工事（令和2年度～3年度継続工事）などである。

##### 【工事の状況】

工 事 名		全体工事費(円)
建 設 工 事	公共桧設置工事、個別排水処理施設合併浄化槽設置工事（2-1工区） 外1件	2,717,000
改 良 工 事	名寄下水終末処理場内排水ポンプ場 No.1 雨水ポンプ設備更新工事 外12件	207,430,000
保 存 工 事	管渠内面止水工事	3,938,000
全体工事費計		214,085,000

#### 4 むすび

名寄市下水道事業は令和2年度より特別会計から公営企業会計に移行し、初年度の決算となった。

公営企業会計に移行したことで経営状況や財務状況の的確な把握を行い、経営改善に反映されることが期待される。

下水道事業収支では4,509万7,041円（税抜）の当年度純利益を計上した。

下水道使用料では、令和2年4月に消費税増税分（2%）転嫁による使用料改定が行われ、収益性の向上が図られた。

しかし、令和2年9月に判明、11月に公表された下水道使用料の賦課漏れは、経営に及ぼした影響や利用者への負担等に加え、公正、公平性を損なう結果となった。再発防止を図り、適正な収入確保に向けた営業活動に努められたい。

下水道は、市民生活に欠くことのできない都市基盤施設である。令和3年3月に改定された「名寄市下水道事業経営戦略（2017～2026）」を着実に推進し、安定的かつ効率的な事業運営に努めていきたい。

別表(1)

## 損益計算書

(税抜) (単位:円・%)

科 目	令 和 2 年 度	
	金 額	対営業収益比
営 業 収 益	622,359,021	100.0
下水道使用料	397,625,021	63.9
他会計負担金	224,665,000	36.1
その他営業収益	69,000	0.0
営 業 費 用	1,085,975,979	174.5
管 渠 費	39,984,397	6.4
処 理 場 費	167,799,790	27.0
個別排水処理費	32,285,640	5.2
普及指導費	8,869,541	1.4
総 係 費	36,257,579	5.8
減価償却費	785,773,034	126.3
資産減耗費	15,005,998	2.4
営 業 利 益	△ 463,616,958	
営 業 外 収 益	622,015,533	99.9
受取利息及び配当金	149	0.0
他会計補助金	240,172,000	38.6
長期前受金戻入	381,789,893	61.3
雑 収 益	53,491	0.0
営 業 外 費 用	74,553,220	12.0
支 払 利 息	72,407,799	11.6
雑 支 出	2,145,421	0.3
経 常 利 益	83,845,355	
特 別 利 益	4,163,643	0.7
そ の 他 特 別 利 益	4,163,643	0.7
特 別 損 失	42,911,957	6.9
そ の 他 特 別 損 失	42,911,957	6.9
当 年 度 純 利 益	45,097,041	



別表 (2)

## 貸借対照表

(税抜) (単位: 円・%)

		借 方		
		科 目	令 和 2 年 度	
			金 額	構 成 比
資 産 の 部	固 定 資 産	13,292,068,365	98.5	
	有 形 固 定 資 産	13,282,247,483	98.4	
	土 地	32,825,507	0.2	
	建 物	433,644,572	3.2	
	構 築 物	10,727,815,822	79.5	
	機 械 及 び 装 置	1,815,945,742	13.5	
	車 両 運 搬 具	1,428,946	0.0	
	工 具 、 器 具 及 び 備 品	151,427,961	1.1	
	建 設 仮 勘 定	119,158,933	0.9	
	無 形 固 定 資 産	9,820,882	0.1	
	電 話 加 入 権	864,000	0.0	
	ソ フ ト ウ ェ ア	8,956,882	0.1	
	流 動 資 産	201,248,807	1.5	
	現 金 ・ 預 金	155,112,316	1.1	
未 収 金	40,491,478	0.3		
貯 蔵 品	5,645,013	0.0		
有 価 証 券	0	-		
資 産 合 計		13,493,317,172	100.0	

(税抜) (単位: 円・%)

		貸 方	
		令和 2 年 度	
科 目		金 額	構 成 比
負 債 の 部	固 定 負 債	3,661,707,309	27.1
	企 業 債	3,642,547,309	27.0
	引 当 金	19,160,000	0.1
	退 職 給 付 引 当 金	19,160,000	0.1
	流 動 負 債	481,606,389	3.6
	企 業 債	443,252,979	3.3
	未 払 金	29,896,120	0.2
	引 当 金	8,322,166	0.1
	賞 与 引 当 金	7,038,128	0.1
	法 定 福 利 費 引 当 金	1,284,038	0.0
そ の 他 流 動 負 債	135,124	0.0	
繰 上 げ 部	繰 上 げ 収 益	6,656,303,034	49.3
	長 期 前 受 金	6,656,303,034	49.3
	他 会 計 繰 上 げ 金	236,027,407	1.7
	国 庫 補 助 金	4,804,252,786	35.6
	負 担 金 長 期 前 受 金	498,050,267	3.7
	受 贈 財 産 評 価 額	133,633,477	1.0
	道 代 行 事 業 評 価 額	922,816,530	6.8
	建 設 仮 勘 定 長 期 前 受 金	61,522,567	0.5
	負 債 合 計	10,799,616,732	80.0
資 本 の 部	資 本 金	2,614,913,892	19.4
	資 本 金	2,614,913,892	19.4
	固 有 資 本 金	2,566,462,892	19.0
	繰 上 げ 資 本 金	48,451,000	0.4
	剰 余 金	78,786,548	0.6
	資 本 剰 余 金	33,689,507	0.2
	他 会 計 繰 上 げ 金	6,286,560	0.0
	道 代 行 事 業 評 価 額	6,132,861	0.0
	負 担 金 及 び 分 担 金	625,604	0.0
	受 贈 財 産 評 価 額	20,644,482	0.2
利 益 剰 余 金	45,097,041	0.3	
利 益 積 立 金	0	-	
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	45,097,041	0.3	
資 本 合 計	2,693,700,440	20.0	
負 債 ・ 資 本 合 計	13,493,317,172	100.0	

## 別表 (3)

## キャッシュ・フロー計算書内訳

(税抜) (単位: 円)

	令和2年度
<b>(1) 業務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
当年度純利益 (△は当年度純損失)	45,097,041
減価償却費	785,773,034
固定資産除却費	15,005,998
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	262,910
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	19,160,000
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,038,128
法定福利費引当金の増減額 (△は減少)	1,284,038
長期前受金戻入額	△ 381,789,893
受取利息及び受取配当金	△ 149
支払利息	72,407,799
未収金の増減額 (△は増加)	△ 27,157,809
未払金の増減額 (△は減少)	4,095,014
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△ 664,103
その他流動資産の増減額 (△は増加)	2,050,646
その他流動負債の増減額 (△は減少)	△ 1,015,699
企業債残高の修正による増減額	△ 1
小計	541,546,954
利息及び配当金の受取額	149
利息の支払額	△ 72,407,799
業務活動によるキャッシュ・フロー	469,139,304
<b>(2) 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△ 261,057,804
無形固定資産の取得による支出	△ 884,082
国庫補助金等による収入	99,942,042
一般会計からの繰入金による収入	3,460,000
負担金及び分担金による収入	220,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 158,319,844
<b>(3) 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	223,400,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 458,862,164
水洗化貸付事業による収入	1,500,000
水洗化貸付事業による支出	△ 1,500,000
一般会計からの出資による収入	48,451,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 187,011,164
資金増加額 (又は減少額)	123,808,296
資金期首残高	31,304,020
資金期末残高	155,112,316

1 業務活動によるキャッシュ・フロー：通常の業務活動の実施に係る資金の状態を表すもの

2 投資活動によるキャッシュ・フロー：将来に向けた運営基盤の確立のために行われる投資活動に係る資金の状態を表すもの

3 財務状況によるキャッシュ・フロー：業務活動及び投資活動を行うための財務活動に係る資金の状態を表すもの